

# 仏像彫刻木彫刻通信

信心会 仏像彫刻・木彫刻教室

富山教室 泉 和江さん

今回は富山教室に通う泉さんにお話を伺いました。  
―教室へ通われて何年になりますか。  
泉さん―十年です。はじめは高岡教室へ通っていたんですけど、途中で富山教室へ移ったんです。  
―教室に通い始めたきっかけは何でしたでしょうか。

泉さん―元々彫刻をやりたいという想いがあった、彫刻の教室を探していたんです。最初は部屋に飾るような彫刻をしたかと思っていて、信心会を知って体験へ行ったら仏像以外の木彫も習えるということでしたので、それで通い始めました。でも仏像を彫ってみたときに「本当に彫りたいのは仏像だよね」と思ったんです。―これまでに何を彫られましたか。

泉さん―最初の作品は一尺二寸の聖観音菩薩を作りました。はじめは娘のお婿さんに「完成したらあげるね」と話していたんですけど、完成する頃には惜しくなってしまうので、自宅の玄関に飾っています。お婿さんには代わりに次に制作した白衣観音を贈って、とても喜んでくれました。―今はなにを彫られていますか。

泉さん―一尺の阿弥陀如来を彫っています。―これから彫りたいものはありますか。

泉さん―これまでに聖観音菩薩と白衣観音を彫っているのので観



音様の一連のものを、続けて彫りたいです。―実際に仏像を彫られて感じたことなどありますか。  
泉さん―彫った仏様の顔が自分に似てくるなあって感じます。先生に手伝って彫っていたのにみんな顔が違って彫った人に似てくるとき、気持ちが入るのかな、と思います。

―周囲の方へお見せしたときの感想はいかがですか。  
泉さん―うちに来た方が玄関に飾ってある聖観音菩薩を見ると「どうしたの?」と聞かれるので「彫ったの」と答えると驚かれます。

―彫刻以外に興味などありますか。  
泉さん―仏像彫刻以外では読書。最近はずっと中国史に凝っています。楊令伝とか三国志とかいろいろ作家が書いてるので、それを読破しようと思つてます。史実に基づいたものが好きですね。

―そうなんですか。とても壮大な感じがしますね。  
本日はどうもありがとうございます。



## 内弟子 川端 貴侖

関侑雲仏所 内弟子の川端貴侖です。関先生から入門のお許しを頂いてから八年目を迎えております。三年半は井波で、その後は中目黒の工房にて木彫刻と仏画をご指導いただき、現在は関先生の厚意で仏画教室の講師を務めさせていただいております。仏画教室では仏画や龍など様々な絵の下絵制作・線描き・着色をご指導し、作品を発表する教室展を開催させていただいております。

昨年、第一子を授かり出産した際にも仕事を続けられるよう先生方のご助力を頂きまして、今年の四月から仕事に復帰をすることが出来ました。

彫刻教室の生徒さんには、直接に接する機会が少ないですが、仏画教室の展覧会をお知らせいたしますと、多くの方がご来場くださり、皆様温かいお声を掛けて下さいます。その言葉がとても励みになつておりまして、皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

この度、関先生のお力添えを頂き、仏画の描き方を記した本を出版させて頂くこととなりました。ちよつとしたコツやポイントを分かりやすく解説しておりますので、ご興味がありましたらお手にとってみてください。これからも師匠に頂いた名に恥じぬよう日々精進して参りますので、宜しくお願ひ申し上げます。



## 第三回 日本木彫刻展

平成二七年二八年と開催され好評を博した日本木彫刻展が二年ぶりに上野の森美術館にて9月20日(木)より開催されます。

今回で三回目となります当展覧会におきましては、日本の伝統の技を受け継ぐ木彫刻作品の力作を多数ご覧いただけます。

他では無いこの機会に、ぜひ会場に足をお運び下さい。

《入場無料》

会場 上野の森美術館別館ギャラリー1  
〒110-0007

東京都台東区上野公園 1-2  
JR上野駅 公園口より徒歩3分  
東京メトロ・京成電鉄 上野駅より徒歩5分

会期 平成30年9月20日(木) ~ 24日(月)

時間 10時~17時

主催 日本木彫刻協会



神田教室 田村 保 さん



神田教室に通う田村さんは三月に釈迦如来坐像を完成されました。教室に通い始めたきっかけは何でしたでしょうか。

田村さん―般若心経に関心があつてお経の解説をいろいろ調べていたんです。その時にこちらの教室を知って、関心がかきましてご連絡しました。

―やられてみていかがでしたか。  
田村さん―最初は地紋彫りをしたんですが、難しかったです。これは続けられるのかなあと思いました。

―実際は？と続けられて、仏像を彫られましたよね。

田村さん―お釈迦様が一体、台座も光背も含めて完成しました。今、リビングに飾ってます。自分でよくやったなあと思いつつながら毎日眺めてますよ。

―どなたかに見せられましたか。  
田村さん―写真を何人かに配ったんですけど「なんだこれは！」って驚いてましたよ。家族にも見せましたら、途中



の状態を全然見せていなかったんでいきなり完成したものが出てきて「あれえ」って感じてびっくりしていました。

―ご自身の感想はいかがですか。  
田村さん―よくやったなあと思ってしまいますね、自分でも驚いてるぐらいですよ。先生にご指導いただいたので、彫っていただいて、お手伝いいただいて、初めて出来上がった。自分でも感動しています。

―その感動が二体目の制作につながっているんですね。  
田村さん―そうですね。

―今はなにを彫られていますか。  
田村さん―薬師如来を彫っています。もともと薬師如来を彫りたかつたんですよ。お釈迦さまが座っていたんで今度は立像で、薬師さまを彫ってみようと思いつた。

―彫刻以外に興味などありますか。  
田村さん―三味線をやっています。津軽三味線を。

―そうなんですか。どれくらいやられているんですか。  
田村さん―三年になります。まだまだひよっこですよ。あと他に組み紐をやってみたいけど、時間が無い。

―いいですね。彫刻と音楽とされていてバランスが良い感じがします。  
次の目標はこちらの薬師如来の完成ですね。

―そうですね、何年かかるか分かりませんが楽しんでやっていたいと思います。本日はどうもありがとうございました。



前橋教室 川端 一枝 さん

―教室に通い始めたきっかけは何でしたでしょうか。  
川端さん―関先生のご実家の観鳳堂さんで仏壇を購入に行った際に教室を教えてください、それから通い始めました。

―以前になにか美術の経験はあったんですか。  
川端さん―全くなかったです。

―確か最初は獅子を彫られてましたよね。  
川端さん―獅子を二体とあとフクロウも彫りました。

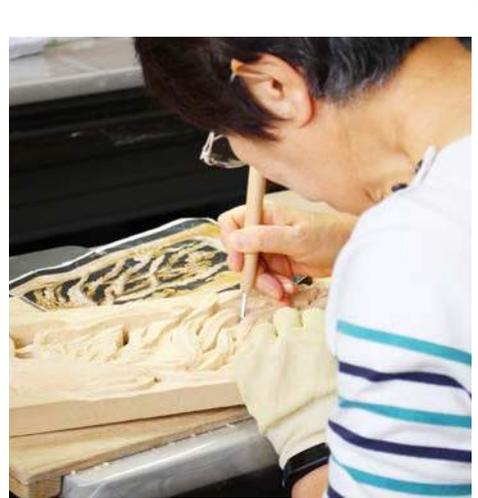
―仏像を彫ったきっかけは東日本大震災の時に被災した親戚が仏壇に入れる仏像が欲しいって言ったんです。それで私でよければって申し出て小さい仏像を彫ってあげたんですね。それを渡したときに大変喜んでくれたんです。

―それ以来彫刻をするときに余計なことを考えなくなりました。前は何を彫っているかわからなかつたんです。

―観察する力もついてきて、神社やお寺などに行つて彫刻を見るのが楽しくなりました。絵も描くんですが、絵が少し変わってきた気がします。

―絵は以前から描かれてるんですか。  
川端さん―始めたのは彫刻よりも後です。彫刻をしていて、観察力ついてきたから絵も変わってきて、お互いに良く作用しているんだと思います。

―小さい展覽会で賞もいただきました。  
―今は何を彫られていますか。  
川端さん―



川端さん―今は鳳凰のパネルを彫っています。

―大作ですよ。  
川端さん―私の中では、今までで一番大きいですね。まだ一年くらいはかかると思います。

―これから彫ってみたいものはありますか。  
川端さん―小さい観音様を彫って、叔母にあげたいと思っています。

―その後は、今彫っている鳳凰と対になるパネルを彫りたいと思います。

―他に何か趣味などありますか。  
川端さん―最近は行つてないですけど、以前は水泳をやっていました。

―そうなんですか。長くやられていたんですか。  
川端さん―二十五年間続けてました。今は健康体操に行つて体を動かしています。

―いいですね。  
川端さん―彫刻も本当に楽しみで来てます。何も考えずに楽しく彫っています。これからもよろしくお願ひします。本日はどうもありがとうございました。

# 関侂雲 仏像彫刻・木彫刻学院

学院生 平野 裕之 さん



今回は学院生の平野さんにお話を伺いました。

平野さんが学院に入られたきっかけを教えてくださいませんか。

平野さん—私は5年前に長女を癌で亡くしまして、その時、亡くなる直前の姿が観音様の様に思えたんですね。

それで仏像を彫りたくなりまして、こちらにお世話になることに致しました。

最初は教室から始めたんですが、やってみると大変面白い。それで一月後くらいに先生に相談しまして学院のほうに移りました。

—実際にやられてみた感想はいかがですか。

平野さん—これが本当に楽しくて、はまってしまいました。

—以前に美術の経験などはあったんですか。

平野さん—全くなかったですね。見るのは好きでしたけど。子供の頃にプラモデルを作ったぐらいです。

—仏像にはご興味があつたのでしょうか。平野さん—こちらに通う以前から、仏像を見るのは好きでした。

—彫刻をして難しいと感じられたことなどありますか。



平野さん—難しいことは沢山ありますね。彫刻刀を砥ぐのも難しいですし、本体の制作も自分ではまだまだレベルが低いと思っているんですよ。まあ、ゆっくりにゆっくりに少しずつ成長していければいいと思います。

—今後の目標などはありますか。

平野さん—仏像だけにとらわれることなく自分なりの構図、デザインで作品を作っていければいいと思います。

たとえば今作っている作品は、月に帰るかぐや姫の姿をレリーフで表現しているんですけどもこういうのもも作っていききたいですね。

作っている時が本当に楽しいんですよ。完成した時はやれやれといった感じで、作っている最中が一番楽しいです。

—これまでどんな作品を作られましたか。

平野さん—最初に聖観音菩薩を作りました。その後、白衣観音・弥勒菩薩・女性像を作りました。

—どこかで発表されたりはしないのですか。



平野さん—特に考えていないですね。これまで作った作品は全部自宅に飾っています。

—たまたまこちらで上野の森美術館で開催された日本木彫刻展に出品させていただきました。出させていたただけるといふことで、出させていたただきまして、そのときに沢山のひとに見ていただきました。私の友達も、70人ほど来まして。それは貴重な素晴らしい体験でした。ただそういう機会がなかったとしても作品を作り続けていきたいと思っています。

—学院の後輩の方に伝えたいことなどありますか。

平野さん—中には途中でやめられる方もいらつしやるじゃないですか。それはやっぱり残念なので、出来ればゆっくりにゆっくりに続けていってほしいですね。—そうですね。本日はどうもありがとうございました。



## おすすめ展覧会情報

### 特別展 京都大報恩寺

快慶・定慶のみほとけ

快慶の弟子、行快作の釈迦如来坐像、快慶作の十大弟子立像、運慶の弟子筋にあたる肥後定慶作の六観音菩薩像など優れた仏像が見られます。

会場 東京国立博物館

会期 2018年10月2日(火) ~ 12月9日(日)

休館日 月曜日(ただし10月8日(月)・祝日は開館、10月9日(火)は(休館))

時間 9:30~17:00

(入館は閉館の30分前まで)

### 京都・醍醐寺

—真言密教の宇宙—

国宝の薬師如来坐像や如意輪観音坐像などが見られます。

会場 サントリー美術館

会期 2018年9月19日(水) ~ 11月11日(日)

休館日 火曜日 10:00~18:00

(金・土は10:00 ~ 20:00)

## 仏教豆知識



お寺って広いですよ。

法事もお勤めもないとがらんとして実はお寺の建物(本堂や塔)をひっそりめて伽藍(がらん)と言います。

広いところに物が無いがらんど・がらん・ガラガラと言った表現はここからきてるんですよ。